

あなたの声を社会へ 世界へ 組合はあなたがつくれます 都教組八王子支部

都教組八王子支部ニュース No.7 2025/9/5

八王子支部ニュース

Tel : 042(623)1141(留守電あり) Fax : 042(627)8741

E-mail : sensei@tokyoso-hachioji.com & hachioji-tu@nifty.com



LINE



HP



E-mail

2025 原水禁長崎世界大会に参加して

都教組八王子支部 山内幹子

知っているつもりでいたが、まだまだ知らないことがたくさんありました。現地に行かなければ感じ取れない「平和を求める思い」や「反核への思い」を強く感じました。その中から3点について報告します。

1点目は、大会1日目、原爆投下後に日米政府が行った被爆被害の隠蔽を告発した大塚一敏さんの話です。アメリカの非人道的な加害を隠蔽するために被爆地への立ち入りを禁止し、情報を規制したこと。そして、日本政府は救護所をたった2ヶ月で閉鎖するなど被爆者を放置する政策を10年以上続けたこと。被爆者は国の支援を受けられず、被爆したことに加え差別と貧困でひどい生活を強いられたという話を聞いて怒りを覚えました。



2点目は若い世代のエネルギーを感じ刺激を受けたことです。1日目最後の司会を務めた高校生の言葉に感動しました。反核平和を目指すために今すべきこと、今起きている戦争に対する強い思いを自分の言葉で会場に訴える姿に感動しました。3日目の高校生平和ゼミナールの報告でも「教科書で今まで学んできたが、ガザやウクライナで今起きていることを見て、自分ごととして捉えるようになった。どうせ戦争なんて起こらないと思っていたがそうではなかった。平和が当たり前という世界を作るのは私たちの小さな一歩からだ」という発言。10代の若者の訴えを聞いてハッとさせられると同時に希望と大きなエネルギーをもらいました。

3点目は「反核平和の文化を広めよう」という分科会で、平和・反核を文化として捉えて、日常的に行動している方々の話を聞くことができたことです。さまざまな年代・

職種の方と各自の取り組みや運動の継承について交流しました。

ある9条の会の方は、知り合いて絵を描くことが好きな若者に「9条のキャラクターを描いて」と依頼し、その絵を9条の会のニュースにカットとして載せたそうです。その若者に直接9条について説明する前に9条を知るきっかけ、触れるきっかけをつくった、という発言が印象に残っています。少し遠回りかもしれませんが、まずは「知ってもらう」ために柔軟な思考が必要だと思いました。分科会を終え、私は教師として「一人ひとりが大事にされること」「差別を許さないこと」「人権を守ること」そして「平和であること」などの意味を生徒たちに伝えられる教師でありたい、そして平和に関わるいろいろな種類の種をまける人になりたいと思いました。

この3日間は私にとって勇気をもらうとともに、自分を振り返る機会となりました。今回、この機会を与えてくださったみなさんに感謝します。ありがとうございました。



八王子支部 2学期支部委員会

日時・場所 9月24日(水) 18:30~19:45 クリエイトホール第5会議室
内容 ・異動について ・賃金確定闘争について ・市教委要請について
参加確認 9/12(金)までにグーグルフォーム(右記2次元コード)にて参加の有無をお知らせください。



7/30 八王子市の小中学校に学校司書の配置を求める連絡会 学習会報告

「AI時代の読書と学校図書館の役割」と題した学習会を開催し、講師に全国学校図書館協議会スーパーバイザーの福田孝子氏をお迎えしました。当日は、図書ボランティアや保護者、教員、市民、市議など21名が参加しました。

福田氏は、教員退職後も全国で学校図書館の重要性を訴え続けており、今回の講演では、読書の価値や家庭・学校での関わり方について語られました。「子どもの関心に偏らず、幅広い本を用意すること、親が読書の姿を見せること、そして本を通じた親子の対話が大切」と強調。さらに「SNSやゲームとの関わり方には慎重さが求められる一方で、子ども一人ひとりに合った読書環境が必要」と話されました。教師や子どもが気軽に相談できる司書の存在も不可欠だと述べられました。



講演後の交流では、保護者の悩みにも具体的な助言をいただき、有意義な時間となりました。また、図書ボランティアからは「司書配置の運動について、保護者にももっと周知すべき」との意見も出されました。

連絡会では毎年、図書館サポートセンターや教育指導課と意見交換を重ね、市長や校長との懇談も実現していますが、私たち「連絡会」と現場の先生方や学校司書との連携は十分とは言えない状況です。今後も「読む力」を育む学校図書館の充実を目指し、皆様とともに活動を進めていきたいと考えています。(文責：連絡会代表 山下)

第75回 東京教研集会

都教組を中心に、自主的な教育運動・市民運動と協力して作る「教育の集い」です。

テーマ「戦後80年、いまこそ自由が保障される楽しい学校を！」
～子どもも大人もつながり合って、いのちと平和が尊重される社会に～

全体会 2025年10月25日(土) 北多摩西教育会館(JR国立駅徒歩5分)

13:00開場 13:30開会 15:30閉会予定

記念講演:「戦争のない世界を!とどけ 私たちの声・願い〜高校生平和ゼミナール」(仮)
地域からの発表:八王子からも教育懇談会の取り組みを発表する予定です

分科会 2026年1月24日(土)~25日(日) 会場…武蔵野市立武蔵野第五小学校
(JR中央線 三鷹駅または武蔵境駅下車)

各教科や、行事・学級学年づくり、生活指導、平和学習、総合的な学習の取り組みなど、テーマごとにレポートを発表し、話し合います。「共同研究者」として、大学教授や各分野の専門家も参加!現在、レポーター募集中です。あなたの実践を発表してみませんか?複数で共同での発表もOK。相談したい方は支部にご連絡ください!

特設分科会 (フィールドワークなど) 地域ごとに特色ある取り組みを準備中!

八王子支部は「もう一つの高尾山」校外学習に役に立つ!

11月22日(土) 講師は前回も大好評の奥田さが子さん

ほかに、11月29日(土)被爆体験を聞く会(町田支部)

11月29日(土)青梅の漆工房を訪ねる(仮)(西多摩支部)